

平成 2 1 年

第 6 回防府市議会定例会

一 般 質 問

9 月 9 日 ( 5 人 )

大田 雄二郎・伊藤 央・山田 耕治・今津 誠一  
原田 洋介

9 月 1 0 日 ( 4 人 )

高砂 朋子・木村 一彦・松村 学・久保 玄爾

9 月 1 1 日 ( 4 人 )

山根 祐二・土井 章・田中 健次・山本 久江

9 月 1 4 日 ( 4 人 )

三原 昭治・重川 恭年・山下 和明・田中 敏靖

	1	大田 雄二郎
質 問 事 項		要 旨
<p>1 . 7 月 2 1 日 の 豪 雨 災 害 の 反 省 と 被 災 者 支 援 等 に つ い て</p>		<p>( 1 ) 7 月 2 1 日 の 豪 雨 災 害 時 に お け る 、 市 長 の 責 任 と 反 省 、 そ し て 、 今 後 の 対 策 に つ い て</p> <p>( 2 ) 被 災 者 支 援 に つ い て</p> <p>( 3 ) 砂 防 ダ ム の 建 設 に つ い て</p>

	2	伊藤 央	
質 問 事 項			要 旨
1．災害対策について	<p>(1) この度の災害発生翌日より、多くのボランティアの申し出があったが、受け入れ態勢を整えるのに時間を要した。この度のボランティアセンター設置、稼働までの流れはどのようであったのか。</p> <p>(2) 平成17年3月議会において、「ボランティア・ネットワークの構築、ボランティア・コーディネーターの養成、災害時に即時にボランティア・ベースを設置出来るための準備」について提案しているが、どのように取り組んでいたのか。</p> <p>(3) 市内における自主防災組織の組織率は、どのくらいであったのか。</p> <p>(4) 先般の臨時議会において、市長は「土砂災害はそもそも想定していなかった」と発言した。平成18年3月議会の一般質問で、小野地域の土砂災害の危険性について指摘したが、全く検討しなかったのか。</p> <p>(5) この度の災害発生時の初動の遅れの原因は、判明したか。</p> <p>(6) 情報収集、分析の方法に問題はないか。</p> <p>(7) 発生後、市職員の対応の悪さに多くの市民から不満の声が上がっている。この原因について、どういう認識を持っているのか。</p> <p>(8) 田畑等、農地への被害も甚大だが、救済措置は。</p>		
2．新型インフルエンザ対策について	<p>(1) 行動計画の策定スケジュールの前倒しは。</p>		

	3	山田 耕治	
質 問 事 項		要 旨	
1 . 災害ボランティアについて		<p>( 1 ) 防府市防災ボランティア活動支援センター（仮称）を設置できないか。  万が一の災害時に必要なマンパワーの担い手として、住民の皆さんやNPO団体等、ボランティア活動をしてくれる人を、防災ボランティアとして登録する等の行政窓口はできないか。</p> <p>( 2 ) 今回の災害で行政がおこなったボランティアへの支援は。</p>	
2 . 自転車の交通規則の周知徹底について		<p>( 1 ) 自転車運転マナーの向上を図るための行政の取り組みは。</p> <p>高齢者の自転車の乗り方、また交通上のきまりやマナー等、安全教育の義務化は。</p> <p>外国人向けの教材や外国人を雇用する使用者等への講習会への呼びかけや指導等があるのか。</p> <p>自転車安全利用促進条例（仮称）の制定は。</p> <p>明日を担う大切な子ども達への交通安全教育の取り組みをどの様にされているのか。  また、その取り組みが、交通マナーや安全意識の向上に繋がっているのか。  今後の行政としての取り組みは。</p>	

	4	今津 誠一	
質 問 事 項			要 旨
<p>1 . 市民との協働による「花いっぱい運動」</p> <p>2 . 防府市再生のための人づくり（教育）政策</p>	<p>( 1 ) 2011 年に山口国体が開催されるが、この実行委員会は「おいでませ！山口」と銘打って競技会場や沿道・街並みなどを花で彩り、全国から来県される方々を温かいおもてなしの心で歓迎するため、県内各地域で「花いっぱい運動」を展開している。この「花いっぱい運動」により、花で溢れるまちの素晴らしさを市民に実感して貰えるよう是非成功させて欲しいと思う。また、この運動を一過性で終わらせることなく、国体終了後も、継続するための計画を作ることを確約して欲しい。そして、私が既に提案している「まち全体が花と緑の植物園構想」を更に前進させて欲しい。</p> <p>( 1 ) 人づくりによって、防府市の再生、発展を図ることは極めて重要な政策である。市長は、マニフェストに「教育」を掲げているが、その具体的な政策を示して欲しい。防府市の再生に貢献する人材を育てるため、「地域の子どもは地域が責任を持って育てる」というスローガンのもと、家庭・学校・地域社会・教育委員会・行政が一体となった人づくりシステムを構築することを提案する。</p> <p>また、学校教育に係る問題として教育委員会の所管事務、全国学力テスト、学級崩壊、道徳教育、教科書の選定、ジェンダーフリー等々について尋ねる。</p>		

	5	原田 洋介
質 問 事 項		要 旨
<p>1 . 防災対策について</p> <p>2 . 被災者の支援について</p>	<p>( 1 ) 自主避難所の設置場所について</p> <p>今回の災害で、自主避難所に指定されている避難所でも、危険な箇所がいくつもあったが、これらの把握はできているのか。今後、避難所についても見直しが必要と考えられるかどうか。</p> <p>( 1 ) 被災者に対するメンタルケア対策について</p> <p>災害によって強いストレスが加わるとさまざまな心の問題が引き起こされる可能性がある。 被災者に対する心のケアはどうなっているのか。</p> <p>( 2 ) 被災者への情報提供について</p> <p>被災者に一日も早く従前の生活に戻っていただくために、地域の復興計画等の情報をきめ細かく伝達しなければならないと考えるかどうか。</p>	

	6	高砂 朋子	
質 問 事 項			要 旨
<p>1 . 災害対策について</p> <p>2 . 学校給食について</p>			<p>( 1 ) 避難支援プランの策定状況と、今後の取り組みについて</p> <p>今年度中の策定を総務省より求められていると思うが、今回の災害を教訓に、より具体的な取り組みが求められる。災害時要援護者の避難支援対策の基本的な方針、要援護者の対象範囲、要援護者についての情報収集や名簿作成、その情報の共有方法などについて、また今後不可欠である自主防災組織の充実について伺いたい。</p> <p>( 2 ) 防災情報の提供について</p> <p>あらゆるシステムや、メディアによる迅速な情報提供の重要性を感じた今回の災害。今後の取り組みを伺いたい。</p> <p>( 3 ) 大光寺原霊園の復旧工事について</p> <p>( 1 ) 各小学校の食器の変更について</p> <p>長年、アルマイト製食器（大皿1ボール1）で対応して来られたが、米飯導入後も、ご飯用食器は取り入れられておらず、ご飯と副食を一緒に大皿に入れ、献立によっては支障をきたしている状態。熱くて食器が持てないため、犬食いの姿勢になることも問題である。食器数の増加と材質の変更は、急務であると思うが、今後の対応を伺いたい。</p>

	7	木村 一彦	
質 問 事 項			要 旨
1．防災対策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ハザードマップの作成について</li> <li>(2) 防災無線の改善について</li> <li>(3) 特養ホームの拡充について</li> <li>(4) 災害による財政負担について</li> <li>(5) 教訓の取りまとめについて</li> </ul>		
2．新型インフルエンザ対策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市内における流行の現状と見通しについて</li> <li>(2) 治療・予防対策について</li> </ul>		
3．生活交通活性化計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 第1回会議における指摘について</li> <li>(2) 早急に具体化すべき課題について</li> </ul>		



	8	松村 学	
質 問 事 項			要 旨
1 . 災害について			<p>( 1 ) 今後の復旧の見通しについて</p> <p>国道262、悠久苑をはじめ各施設、地区の復旧の目途はいつ頃か。</p> <p>( 2 ) この度の災害によって、新たに生じた被害について</p> <p>江泊・富海漁港に大量な土砂が流れ出し、船が入れない状況になっているが、対応は。また、その他に災害の余波によって生じている問題は。</p> <p>( 3 ) 街中でも、路面がほとんど水没し、床下浸水した家もかなりある。これを機に、今後の河川整備や管理体制をどのように改善するのか。最近は集中豪雨が多い。既存の対応では、もはや防げないのでは。</p> <p>( 4 ) この度の初動体制の遅れについて、市長は市民に謝罪されないのか。</p>

	9	久保 玄爾
質 問 事 項		要 旨
<p>1 . 行政改革について</p>		<p>( 1 ) 職員定数削減について 削減計画の基本的な考え方は。  団塊世代の退職後の対応について</p> <p>( 2 ) 専門職の養成について  地産地消、中小企業振興、地球温暖化等の専門職の養成（人事のあり方）</p>

	10	山根 祐二
質 問 事 項		要 旨
<p>1．建設業と地域の元気回復事業について</p> <p>2．農地法等改正について</p>	<p>(1) 国の支援事業「建設業と地域の元気回復事業」について、防府市の取り組みはどうか。</p> <p>(2) 本市の建設業の現状について認識はどうか。</p> <p>(1) 農地集積加速化事業の防府市の取り組みはどうか。</p> <p>(2) 農業委員会の体制強化についてどう考えるか。</p> <p>(3) 耕作放棄地への効果はどのように考えるか。</p>	

	1 1	土井 章	
質 問 事 項			要 旨
<p>1 . 7月21日発生 of 災害について</p>	<p>( 1 ) 何を根拠に、土石流災害を想定外としたのか。</p> <p>( 2 ) 防府市地域防災計画に避難の準備情報及び勧告・指示等の基準が示され、「土砂災害警戒情報が発表されたとき」とあるが、最低限の「避難準備情報」は発令したのか。</p> <p>( 3 ) 県から、7時40分を1号に複数回土砂災害警戒情報が発表されているが、先の臨時議会でこの情報が上まで上がっていなかったとの答弁があったが、それぞれ、どこで止まっていたのか。</p> <p>( 4 ) 臨時議会で、生活困窮者の家屋障害物除去委託料として、20戸分を計上したが、その執行状況は。</p> <p>( 5 ) 市営大光寺原霊園の復旧については、全面的に市が責任を持つべきと考えるが、市の対応は。</p> <p>( 6 ) 現在発令中の避難勧告の解除について</p> <p>( 7 ) 今回、防災行政無線は用をなさなかったが、コミュニティFMを積極的に活用すべきではないか。</p> <p>( 8 ) 台風シーズンを前にして、避難場所の見直しを提言していたが、どの様になっているか。</p> <p>( 9 ) 土砂災害防止法で義務付けられているハザードマップを、「当面、危険な場所からマップを作っていく」と記者会見で述べているが、587か所に優劣はなく、幾らかかってもやるべきではないか。</p>		
<p>2 . 保育園保育料、学校給食費の滞納対策について</p>	<p>( 1 ) 滞納件数、滞納額及びこれが徴収対策について</p>		

	12	田中 健次	
質 問 事 項			要 旨
<p>1. 災害対策について</p>	<p>(1) 土砂災害防止法に基づく「土砂災害警戒区域(イエローゾーン)」の一部を「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)」に見直すよう、県に求める考えはないか。</p> <p>(2) 「土砂災害警戒区域」に対して、市が果たすべき責務、役割について、どう考えているのか。また、未実施のものについて、どう実施していくのか。</p> <p>(3) 避難勧告等の判断マニュアルはどうなっているのか。水害、高潮災害、土砂災害、津波と、別々に作成しているのか。</p> <p>(4) 避難勧告等の伝達方法について、今後どう整備していくのか。</p> <p>(5) 防災担当の職員体制について、今後どういう体制を考えているのか。</p> <p>(6) 自主防災組織の整備をどう進めるのか。</p> <p>(7) 佐波川ハザードマップを再度、市民に配布すべきではないのか。また、柳川等のハザードマップについて、どう整備していくのか。</p>		

	13	山本 久江	
質 問 事 項			要 旨
	1．豪雨被災者支援と今後の対策について		<p>(1) 土砂災害警戒区域について、警戒区域ごとに市防災計画に警戒避難体制に関する事項を定めることになっているが、今後どのように整備するのか。</p> <p>(2) 警戒区域にある災害時要援護者関連施設利用者のために、防災計画で、情報等の伝達方法を定めることになっているが、今回の災害の教訓を今後どう生かしていくのか。</p> <p>(3) 危険箇所にある要援護施設周辺の防災対策が急がれるが、どう検討しているのか。</p> <p>(4) 中小企業などへの融資制度の充実を求めたいが、どうか。</p> <p>(5) 被災者生活再建支援制度では、半壊、床上浸水などが対象となっていないが、国に対し、制度の拡充を求めること。</p>
	2．市保育所の整備について		<p>(1) 宮市保育所の改築が急がれるが、今後の計画はどうか。</p> <p>(2) 公立保育所の役割を考えれば、現在の3保育所は、直営を維持すべきと考えるが、どうか。</p>

	14	三原 昭治	
質 問 事 項			要 旨
<p>1. 豪雨災害の原因と今後の対策について</p>			<p>(1) 7月21日に防府市を襲った豪雨災害では、特に右田、小野両地区に甚大な被害をもたらすという、いわゆる局地的災害ともいえる事態が発生したが、その原因についてどのように分析しているのか。</p> <p>また、この豪雨災害を教訓とした防災体制の見直しや新たな防災対策への取り組みについての考えは。</p>

	15	重川 恭年
質 問 事 項		要 旨
<p>1. 市民にやすらぎのチャイム（メロディー）復活について</p> <p>2. 災害に強い、まちづくりについて</p>	<p>(1) かつて、公会堂、時計台からチャイムが流れていたが、現在、休止されている。復活をしたら如何か。</p> <p>(1) 今回の豪雨災害を教訓として、災害に強い、まちづくりの構築を求める。</p>	



	16	山下 和明
質 問 事 項		要 旨
1. 安心・安全対策について		(1) 新型インフルエンザ対策について  (2) 野犬対策について

	17	田中 敏靖	
質 問 事 項			要 旨
1．治山治水について			(1) 山林の保全管理について  (2) 2級河川から法定外公共物の水路までの対応について
2．道路について			(1) 市道認定について

